

ほくは ^{ちい}小さい ^{とき}時から
ずっと、神の ^{かみ}み ^{ことば}言葉と ^い生き ^{かた}方を
^{おそ}教わっていたんだ。

しんやくせいしょ ^で出てくる ^{しんこう}信仰 ^{ひと}の人

テモテ

そ ぼ ^{はは}祖母ロイスと ^{はは}母ユニケは、
テモテが ^{かみさま}神様 ^しを知り、^{かみさま}神様と ^{ことば}み言葉を
^{あい}愛する ^{そだ}ように ^{そだ}育てました。



テモテは使徒パウロからも個人的な指導を受け、パウロにとっても大きな助けとなっていました。



パウロはテモテに2通の手紙を書きました。それは、「テモテへの第一の手紙」と「テモテへの第二の手紙」として聖書におさめられています。パウロは、テモテが幼い時から受けていた教育について、こう書いています。「幼い時から、聖書に親しみ、それが、キリスト・イエスに対する信仰によって救いに至る知恵を、あなたに与えうる書物であることを知っている。」(口語訳聖書、テモテへの第二の手紙 3:15)

テモテは、パウロにはげまされながら、神のみ言葉を勉強し続けました。「あなたは真理の言葉を正しく教え、恥じるところのない錬達した働き人になって、神に自分をささげるように努めはげみなさい。」(口語訳聖書、テモテへの第二の手紙 2:15)